



野田中だより

川越市立野田中学校

令和 6年 2月 2日

第10号 校長 吉川 恭子

【学校教育目標】 志高く、学び考え実践する生徒
心豊かで、認め合い高め合う生徒
心身を鍛え、命を慈しむ生徒

『ほめて 認めて 励まし続ける』

「こんな中でも 育ってくれてありがとう」

能登半島の牧場主さんが 母牛の鼻をなでながら 掛けた言葉です
地震から2日後 牛舎の片付けや牛の世話に追われていた時
ふと気がつく と 1頭の子牛が生まれていました
重い決断を強いられる中で 牧場主さんがほっと笑顔になった瞬間でした

停電や断水の影響で 病気になる牛が多数…

乳の殺菌処理ができず 牛乳を廃棄…

地震が怖かったのか 牛舎から出たがらない牛も…

「心は全く休まらないですが この牛のために なんとか頑張んなきゃなって思っています」

(1/29付NHK NEWS WEB より部分引用)

私も頑張ろうと 思いました

伝統を受け継ぐ

1月29日に本校の校章図案者 が訪問されました。

校章デザイン(昭和57年)について、当時の思いや構想をお話いただきました。

『雁』 希望を持って飛び立つ 『稲穂』 藁で束ねた3本の茎は、1年2年3年が力を合わせて学校を創り上げていく」ことを伺い、歴史の重みを感じました。

校章を元にした壁飾りを製作している生徒を激励いただきました。

ありがとうございました。



※壁飾りは3月に完成予定です。
どうぞ、ご期待ください。

